

# 信頼をつくる 「三方よし」の モノづくり

2017年6月9日

三方良しの公共事業推進カンファレンス2017沖縄

有限会社磯部組

宮内保人

# 三方良しの公共事業

企業  
よし

行政  
よし

住民  
よし

# 三方良しの公共事業改革宣言

我々は、公共事業を通じて国民の安心と国土の安全を守り、より良い社会を築くことに貢献するという重責を、改めて強く心に刻む。

発注者と施工者が、社会に最大の利益をもたらすために、「良いもの」を「より早く」提供することを目指して、一致協力し、全力を挙げて公共事業に取り組む。これによって、住民、発注者、施工者の三方に利益をもたらし、ひいては財政の健全化にも貢献する。

我々は、この「三方良しの公共事業」を力強く推進していくことを、ここに宣言する。

『公共事業の原点回帰の日』2007年5月8日

「三方良しの公共事業改革」フォーラム（東京）にて

**身体性を伴わない言葉  
では人は動かない**

工事目標をしっかりとすり合わせして

**住民の安心・安全のために**

みんなの知恵を使って工程表をつくり

責任感を共有し

**発注者と施工業者がチームワークで**

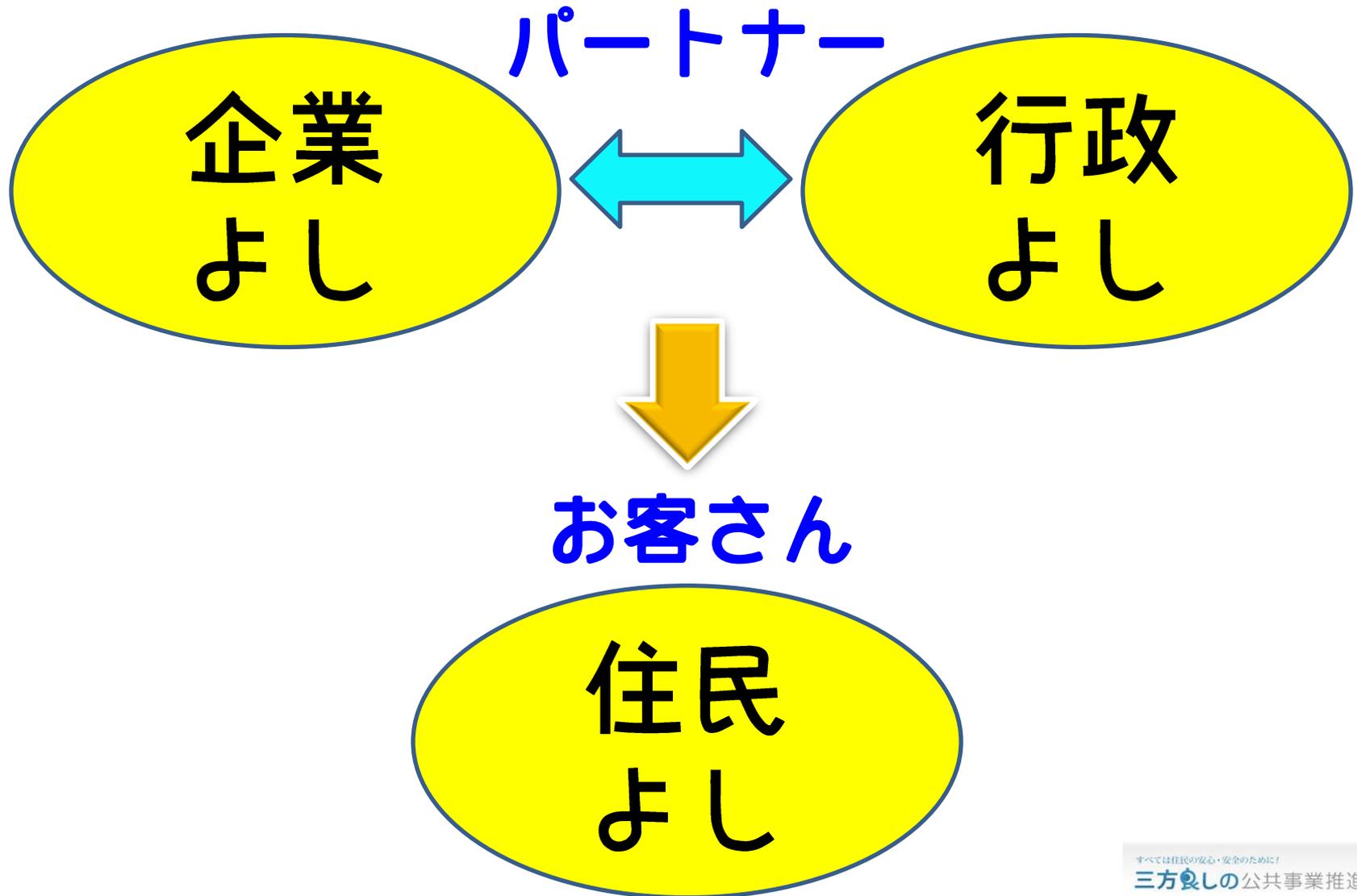
早めに手を打つ先手管理で

お互いに助け合いながら

**良いモノをより早くつくる**

**わたしたちの  
お客さんは  
住民です**

# 公共事業の「三方良し」



信頼は現場から  
生まれる

信頼

相手の能力  
に対する信頼

相手の意図に対する  
期待としての信頼

泣いた赤鬼



文・浜田廣介 画・浦沢直樹

赤鬼は  
なぜ信頼されたか？

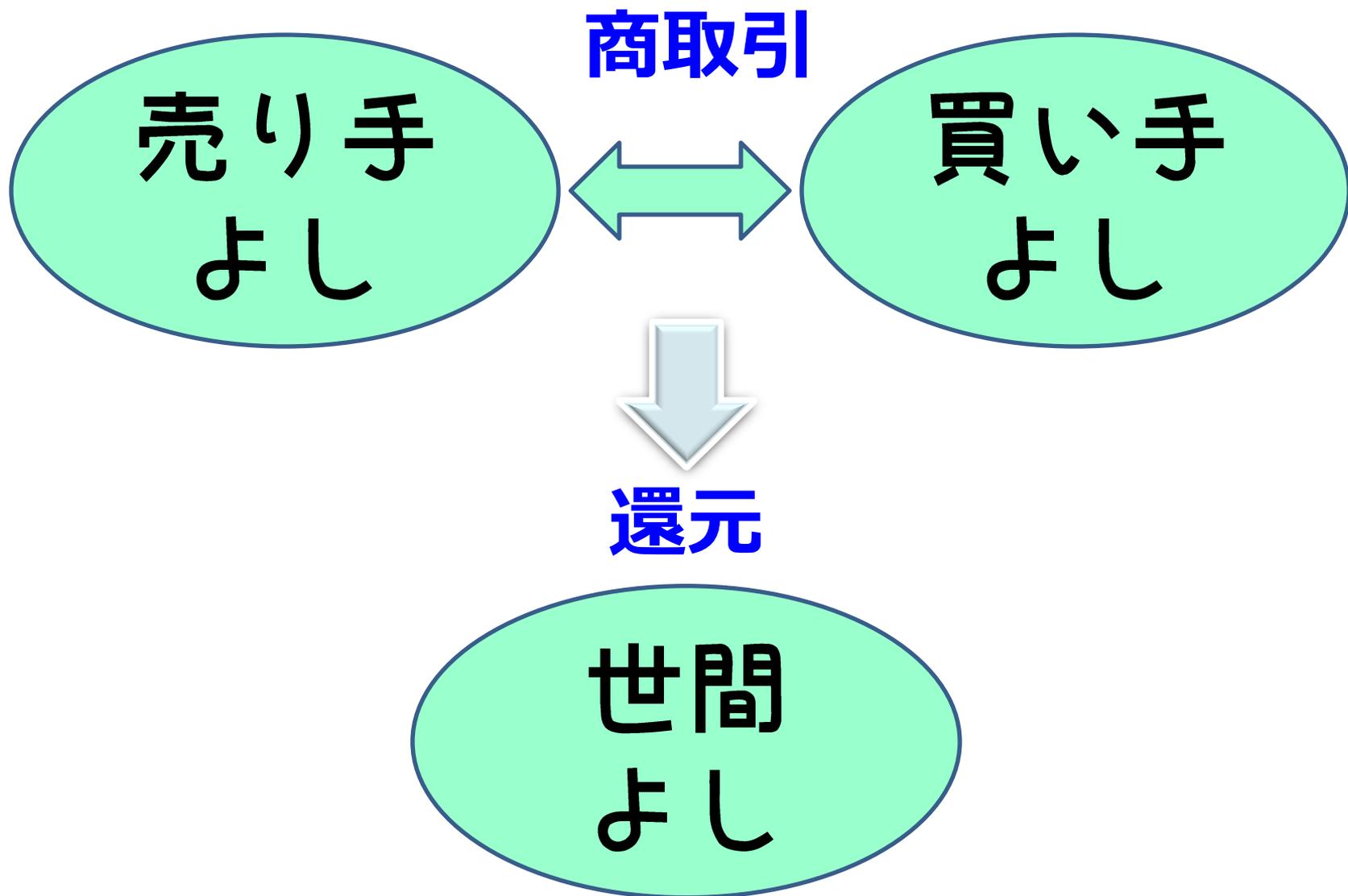
# 近江商人の 「三方よし」 における信頼

たとへ他国へ商内に参り候ても、この商内物、この国の人一切の人々、心よく着申され候ようにと、自分の事に思わず、皆人よき様にと思い、高利望み申さずとかく天道のめぐみ次第と、ただその行く先の人を大切におもふべく候、それにては心安堵にて、身も息災、仏神の事、常々信心に致され候て、その国々へ入る時に、右の通りに心ざしをおこし申さるべく候事、第一に候

宝暦4 (1754) 年 中村治兵衛宗岸 (麻布商人)

他国へ持下り商いに出かけた場合は、持参した商品に自信をもって、その国のすべての人々に気持よく使ってもらうようにと心がけ、その取引が人々の役に立つことをひたすら願い、損得はその結果次第であると思い定めて、自分の利益だけを考えて一挙に高利を望むようなことをせず、なによりも行商先の人々の立場を尊重することを第一に心がけるべきである。

# 近江商人の「三方よし」



たとへ他国へ商内に参り候ても、この商内物、この国の人一切の人々、心よく着申され候ようにと、自分の事に思わず、皆人よき様にと思い、高利望み申さずとかく天道のめぐみ次第と、ただその行く先の人を大切におもふべく候、それにては心安堵にて、身も息災、仏神の事、常々信心に致され候て、その国々へ入る時に、右の通りに心ざしをおこし申さるべく候事、第一に候

宝暦4 (1754) 年 中村治兵衛宗岸 (麻布商人)

他国へ持下り商いに出かけた場合は、持参した商品に自信をもって、その国のすべての人々に気持よく使ってもらおうようにと心がけ、その取引が人々の役に立つことをしつらう。願ひ損得はその結果次第であると思ひ定め、自分の利益だけを考へて一挙に高利を望むようなことをせず、なによりも行商先の人々の立場を尊重することを第一に心がけるべきである。

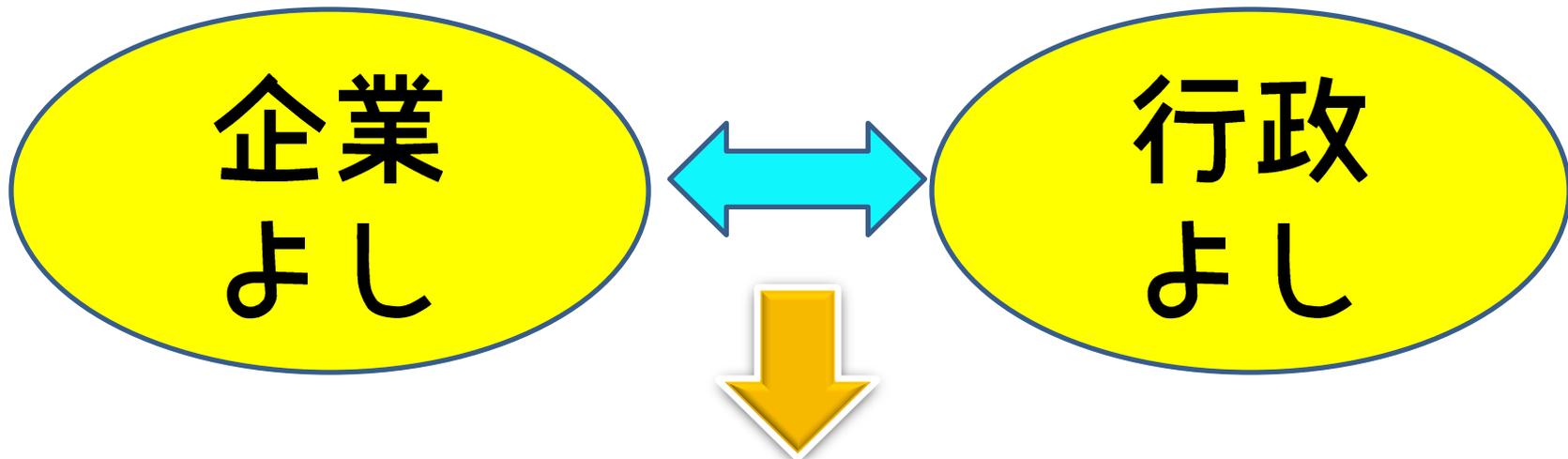
公共事業の

「三方よし」

における

「喜んでもらう」

**喜んでもらう**



**喜んでもらう**



キレイゴトで  
メシが食えるか

# 「三方よし」とは

現場から生まれた信頼を

現場でストックし

さらにそれを

自らの武器とする

**戦略**だった

ビジネス（商売）とは  
いつの世でも  
生臭いもの

ゆえに

# 自利の行為が 利他となる

自覚的か否かが重要



# まごまごらくど

## 第三十六席

協力：落語協会  
落語芸術協会

まんが：小森すくる スペース・インパクト



江戸っ子は  
「お金はパツと使うもの」で、  
あまりお金に執着しませんでした。  
実に粹でした。

# 三方一面損



まごまごらくど



たぬ  
金も  
生まれざらぬ  
江戸っ子



「三方一両損」

における

「三」

# 利他の行為が 自利となる

自覚的か否かが重要

二項対立で生ずる  
問題を解消する  
手立てとしての



# 二項対立とは

2つの概念が矛盾または  
対立の関係にあること  
概念をそのように二分すること  
内側と外側、主体と客体  
男と女、発注者と受注者  
わたしつくる人あなた食べる人  
夫と妻

平成28年6月10日

# 「受発注者＝夫婦」論



三方良しの公共事業推進研究会  
新潟支部 支部長 小野 貴史



# 二項対立モデル としての夫婦

夫婦げんかは  
犬も食わない

確認しておきたい前提

夫婦はひとつ

夫と妻は  
互いをパートナーとし  
て認め、協力しながら  
生きていかなければな  
らない運命共同体です。

## 性別離婚申し立ての動機別割合(2014)

費目	男性_夫(%)	女性_妻(%)
性格が合わない	61	41
生活費を渡さない	4	29
精神的に虐待する	18	24
暴力を振るう	8	23
異性関係	15	19
浪費する	12	11
家庭を捨てて省みない	7	9
性的不調和	14	8
家族親族と折り合いが悪い	15	7
酒を飲みすぎる	2	6
病気	5	3
同居に応じない	10	3
その他・不詳	24	16
合計	100	100

離婚申し立て  
全体の半数以上が  
「性格が合わない」  
と回答

【出典】司法統計2014 性別離婚申し立ての動機別割合の推移(1975-2014)

# 価値の共有 目的の共有



冷えきった夫婦がいっしょになって考える機会を持った。そこで気づいたことが「誰のために何のために工事をするのか」。

「工事の目的」を受注者と発注者が共有し、施工者の思いを地域住民に伝える、地域住民の思いを施工者が聴く。その繰り返しのなか、地域の方から出てきた言葉が

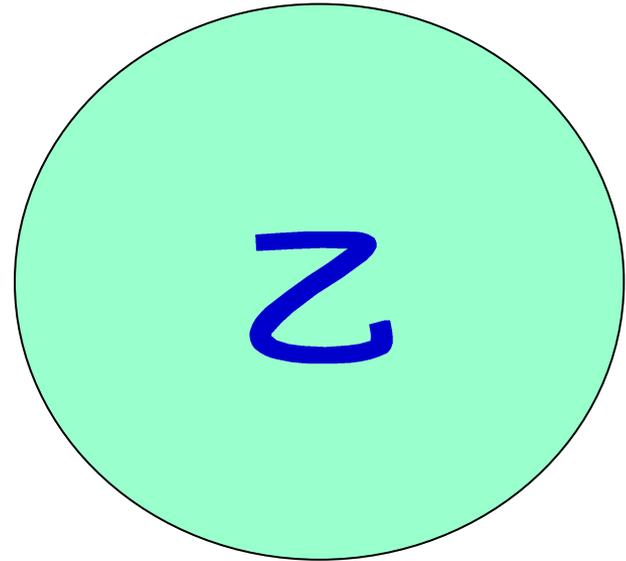
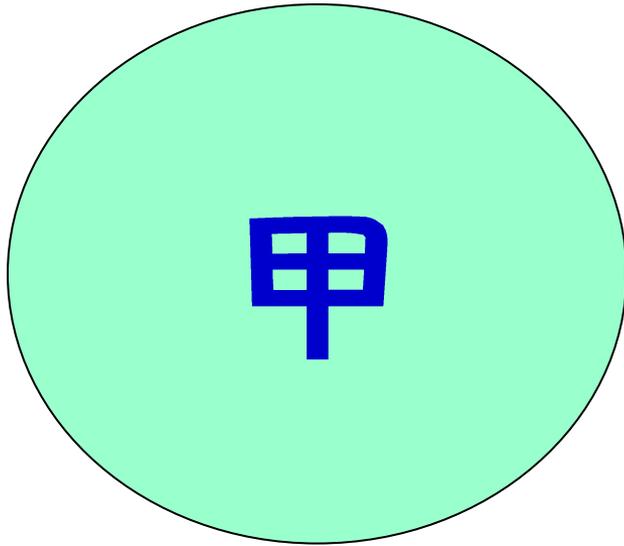
# 誰のために何のために

そこを突破口として、受発注者という二項対立の発想から脱却する。

発注者と受注者がパートナーとして共通のお客さんである住民のために「モノ（場所）づくり」をする、という考え方に立った仕事をする。

「三」の優位性に気づき、  
「三」の存在が必須である  
ことを認め、  
「三」に喜んでもらおうと  
した結果、  
「三」からの  
フィードバックを受けた。

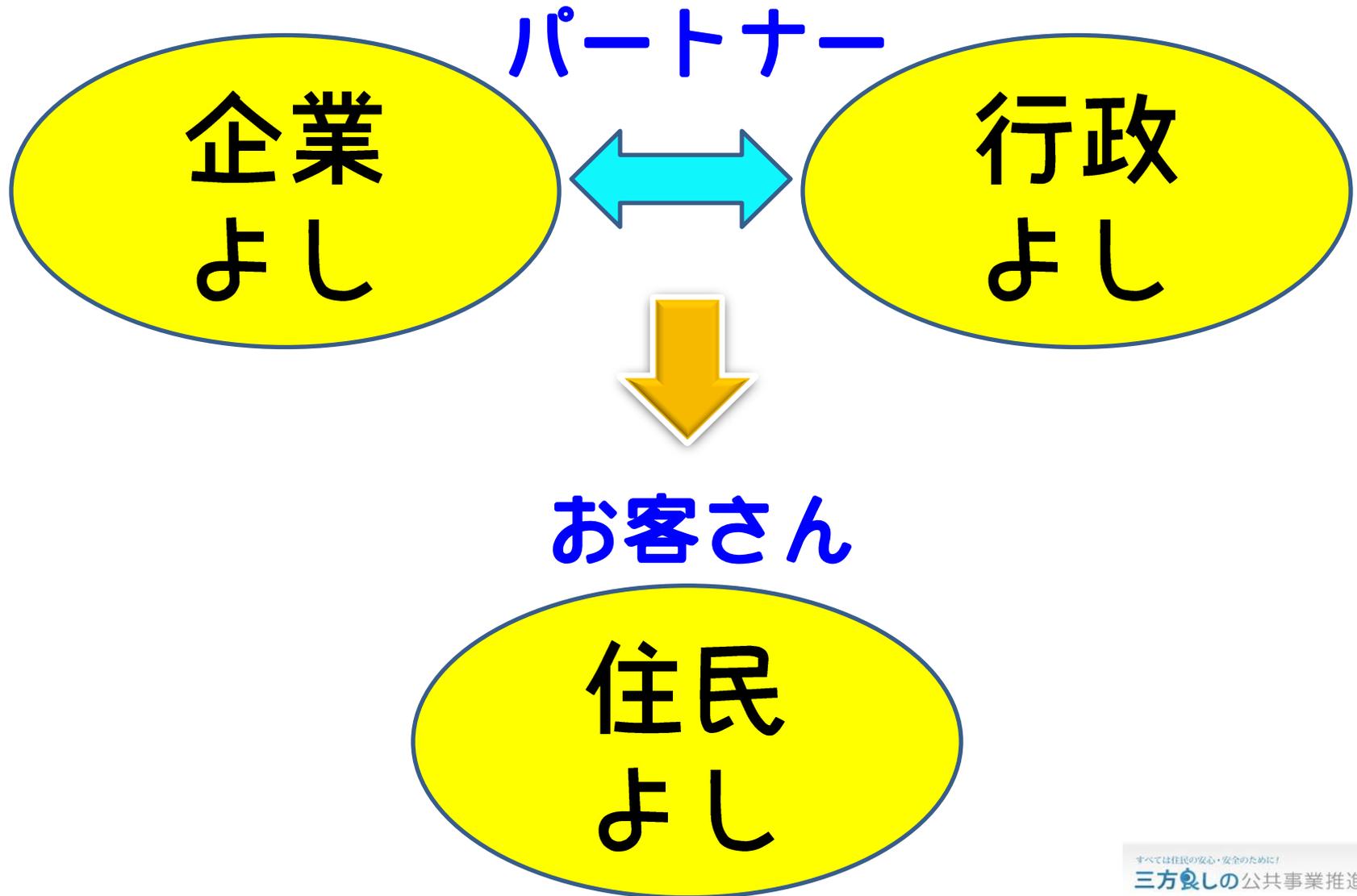
ありがとう



**二項対立の発想（仕組み）  
には限界がある**



# 公共事業の「三方良し」



2011年夏～秋

国道493号

応急復旧の記録



全国有数のゆずの産地

高知県安芸郡北川村



平成23年07月18日16時

台風第6号



# 台風6号

統計史上7月最強となった台風6号は降り始めからの総雨量が1200mmを超す猛烈な豪雨をともなって高知県東部を襲い、もつとも被害が大きかった北川村では、深層崩壊による土石流や奈半利川の洪水により、地域の幹線道路である国道493号が数か所で寸断された。

柚子の出荷までに  
全線開通を



平成23年09月02日11時

台風第12号(24時間先まで)



# 台風12号

# 台風15号

の影響による

集中豪雨



柚子の出荷に  
間に合わない



ハンパで見せろっ!!! 土木の力!!!

土木の  
魂っ!!!

しんぞう

10月23日

柚子出荷の

受け入れ初日

道がつながる



bob コレクター

bob コレクター

工事目標をしっかりとすり合わせして

**住民の安心・安全のために**

みんなの知恵を使って工程表をつくり

責任感を共有し

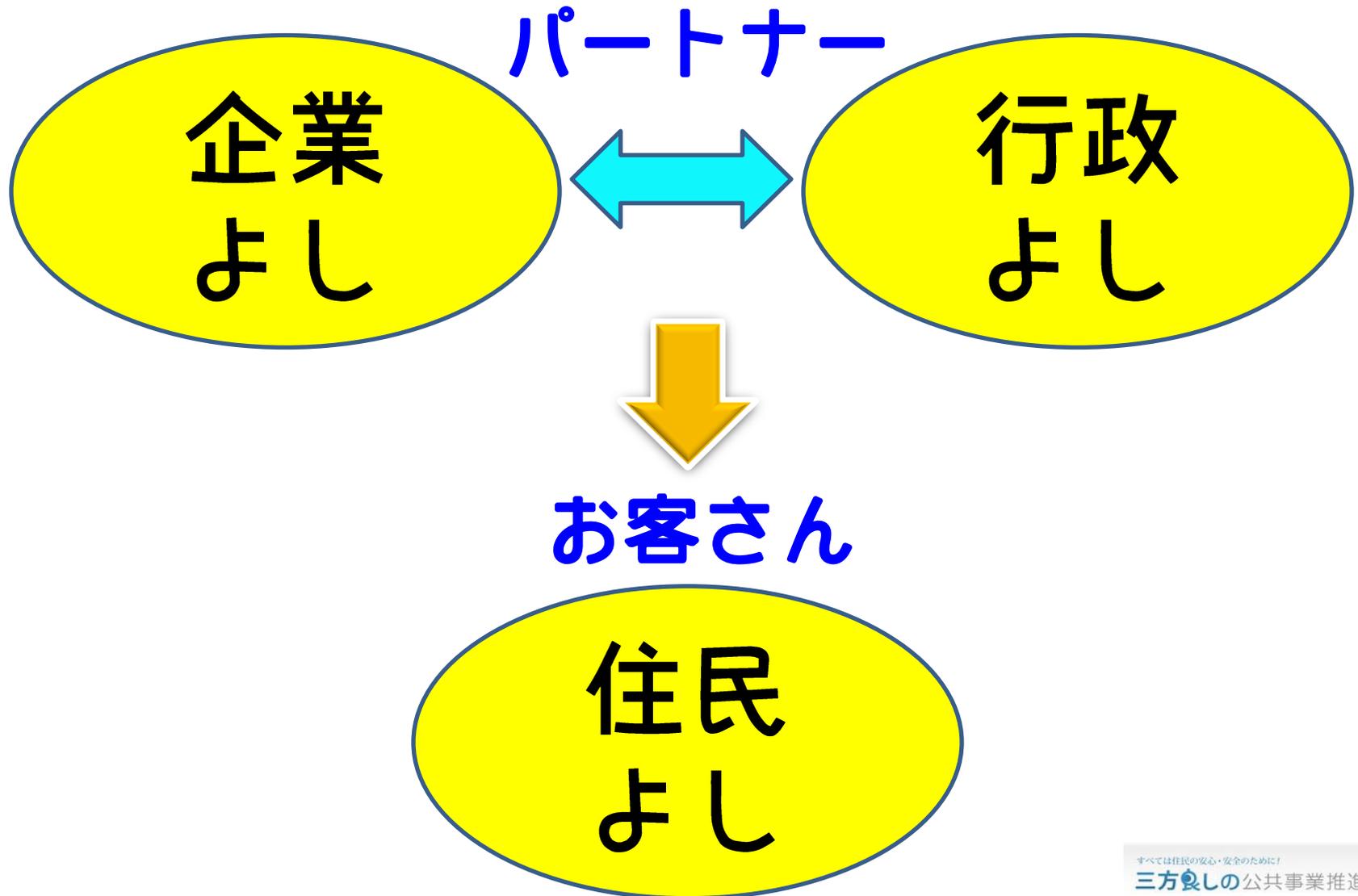
**発注者と施工業者がチームワークで**

早めに手を打つ先手管理で

お互いに助け合いながら

**良いモノをより早くつくる**

# 三方良しの公共事業



住民  
行政  
企業

身体性を伴った  
言葉で話をしよう

となりの家の

山本さん

監督職員

の中野さん

まずは個人に

**「喜んでもらう」**

というマインドを持つ

それが身体性を伴った

「三方よし」のスタート

ひとりのために  
つくる

そんなスタイルも  
アリじゃないか

そして  
個人と個人のあいだで  
信頼を構築する

キレイゴトで  
メシが食えるか

企業の目的は金もうけ

利益を上げ続けなければ  
存続することすら  
できないじゃないか

しかし、  
わたしたちの利益とは  
直接的な金品の交換  
から生まれるもの  
ではない

公共建設工事の利益は  
社会資本を造るという行為を  
迂回して達成される

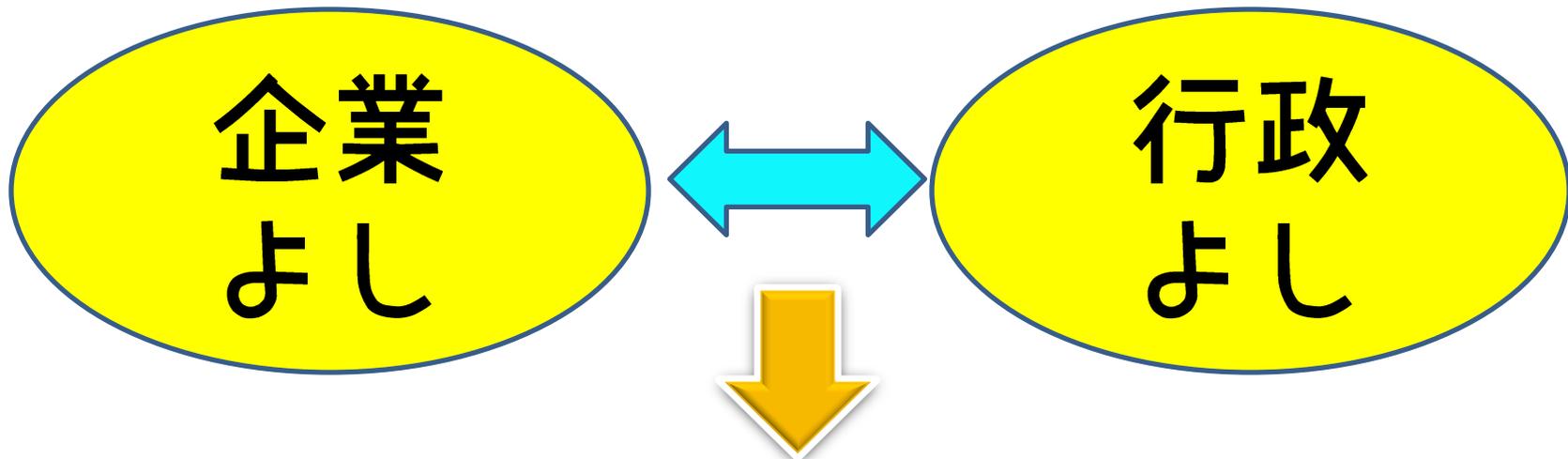
**技術の贈与  
に対する報酬**

# インフラをつくる

自利の行為が  
自ずから利他となる

自覚的か否かが重要

**喜んでもらう**



**喜んでもらう**



まずは顔が見える人に  
「喜んでもらう」

そしてたくさんの人に  
「喜んでもらう」

**わたしたちの  
お客さんは  
住民です**

信頼



信頼



信頼



信頼



# 答えは現場にあり！

有限会社礒部組 技術部長

三方良しの公共事業推進研究会 理事

宮内保人

Blog : 「答えは現場にあり。技術屋日記」

<http://blog.goo.ne.jp/isobegumi/>

: 「土木のしごと－(有)礒部組現場情報」

<http://blog.goo.ne.jp/isobe-genba/>



## 9月9日ふたたび来沖!!